

広報

かまいし

2年分の思い せりふに乗せて



もくじ

- ②新型コロナワクチン接種関係
- ④医療費窓口2割負担
- ⑤医療・福祉関係者奨学金 他
- ⑥子どもはぐくみ通信
- ⑦市民のひろば 他
- ⑧まちのお知らせ
- ⑩保健だより
- ⑫釜石の歴史もよま話

第35回釜石市民劇場が3月6日開催されました。2年ぶりの開催となった今回は、唐丹村本郷出身で、伊能忠敬とも関わりがあったとされる天文学者の葛西昌^{まさひろ}丕の若き日の姿を描きました。葛西は、天文学の他、国文学や和歌など、多様な分野に精通し、飢饉で困窮した村人を救うなど、人情味あふれる人物だったとされています。今回の舞台でも、立場関係なく、地域の人に寄り添う人情味あふれる姿を描き、午前午後の2回の公演で集まった267人の来場者の心を揺らしました。同実行委員会の会長で、原作・脚本、総監督を務めた久保秀俊さんは「時間をかけて、キャスト・スタッフ一同で創り上げてきたので、コロナに負けずに開催できて良かった。これがきっかけで、他のイベントも開催できるようになり、まちがにぎわえば」と期待を込めました。

メインキャストの3人 左から

ウメ役：小笠原景子さん、葛西昌丕役：久保修二さん、おユキ役：西山彩菜さん